

2016花き生育(チューリップ花芽分化・第4報)

チューリップの花芽分化状況について(7月21日現在)

平成28年7月22日
経営普及課
(農業革新支援担当)

園芸研究センターにおけるチューリップ花芽定期観測結果から、今年の花芽分化及びノーズの伸長状況等について主要3品種のデータを紹介します。

1 供試球根(調査品種)

農業総合研究所園芸研究センター本場(砂壤土)産球根

品種(系統)	掘取日	調査サイズ	初期乾燥	貯蔵
プレルジューム(T)	6月9日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
イルデフランス(SL)	6月9日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
メリーウイドー(T)	6月9日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵

2 年次別りん片含水率(7月10日定期調査)

・りん片含水率は、品種によりばらつきがあるが、3品種とも平年に比べてやや高い。

品種	年次別りん片含水率(%)									2006-2015 平均(※)
	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2008	2007	2006	
プレルジューム	54.1	54.1	56.6	54.4	50.0	50.5	52.0	52.1	57.4	53.4
イルデフランス	59.5	56.8	57.2	58.9	54.0	55.9	55.9	54.6	62.0	56.9
メリーウイドー	57.8	56.8	56.7	59.1	51.8	54.6	54.7	55.6	60.5	56.2
3品種平均	57.1	55.9	56.8	57.5	51.9	53.7	54.2	54.1	60.0	55.5

※2009～2010年は欠測

3 花芽分化の状況

- (1) 花芽分化のスタートは品種によりばらついたが、その後は3品種とも急速に分化が進んでいる。
- (2) 品種別には、プレルジュームとイルデフランスは柱頭分化期(G2)～柱頭分化完成期(G3)、メリーウイドーは内雄ずい分化期(A2)～雌ずい分化始期(G1)と、花芽分化段階は平年に比べてかなり早く進んでいる。いずれの品種も、個体により花芽分化にややばらつきが見られる。
- (3) ノーズの伸長も、3品種とも平年より早く進んでいる。

4 具体的データ

添付ファイル「T20160721data」参照

※ 次回の生育情報は、7月26日調査のチューリップ花芽分化(第5報)をお知らせする予定です。